

社会福祉法人 つばめ福祉会
介護福祉士実務者研修(通学課程) 情報開示項目

設置者に関する情報

- ① 設置者の法人種別、名称並びに主たる事業所の所在地及び連絡先
社会福祉法人 つばめ福祉会 新潟県燕市大曲 2486 番地
電話番号 0256-61-6363 FAX 番号 0256-61-6771
- ② 法人の代表者の氏名
理事長 吉田 賢一
- ③ 介護福祉士養成施設以外の実施事業
社会福祉法人 つばめ福祉会 ホームページ「事業所一覧」参照
- ④ 財務諸表
全国社会福祉法人経営者協議会ホームページに掲載

介護福祉士養成施設に関する情報

- ① 介護福祉士養成施設の名称、住所及び連絡先
社会福祉法人 つばめ福祉会 新潟県燕市大曲 2486 番地
電話番号 0256-61-6363 FAX 番号 0256-61-6771
- ② 介護福祉士養成施設の代表者の氏名
理事長 吉田 賢一
- ③ 介護福祉士養成施設の開設年月日
平成 28 年 6 月 1 日
- ④ 学則
別添 学則 参照
- ⑤ 介護福祉士養成施設の研修施設、図書館(蔵書数を含む)等の設備の概要
研修施設：社会福祉法人 つばめ福祉会 法人本部
図書室の蔵書数：3000 冊以上(専門書、一般図書など)

養成課程に関する情報

① 養成課程のスケジュール

募集要項 参照

② 定員

10名

③ 入学までの流れ(募集、申込、資料請求先)

1. 入学志願者は、期日までに居住地を管轄する公共職業安定所へ、入校申込書等の必要書類を提出する。
2. 入学者の選考は、公共職業安定所が審査の上、新潟県立三条テクノスクールが実施する。
3. 新潟県立三条テクノスクールの選考を経て合格の通知を受けた者へ受講の手引き等の資料を送付し、テキスト代の納付を確認した時点で入学手続完了とする。なお、この際の振込料金は、受講生の負担とする。

④ 費用

入学金・授業料は無料とし、テキスト代 14,080 円(税込)のみ受講生負担とする。なお、前記の費用は、当法人指定口座に案内期日までに一括振込で納付しなければならない。

⑤ 科目ごとのシラバス

別添 シラバス 参照

⑥ 教員数、科目ごとの担当教員名(教員の氏名、略歴、保有資格)

別添 講師一覧 参照

⑦ 使用する教材

介護福祉士実務者研修テキスト(450 時間研修) 全 5 巻(中央法規出版株式会社)

⑧ 介護実習施設等の名称、住所及び事業内容

特別養護老人ホーム 白ふじの里 新潟県燕市大曲 2472 番地 1

実績に関する情報

① 卒業者の延べ人数 38 名(2023 年 3 月 1 日現在)

平成 28 年度 4 名	2019 年度 6 名	2022 年度 実施せず
平成 29 年度 6 名	2020 年度 6 名	
平成 30 年度 8 名	2021 年度 8 名	

社会福祉法人つばめ福祉会 介護職員養成事業 介護福祉士実務者研修(通学課程) 学則

第1章 総則

(設置目的)

第1条 介護福祉士実務者研修は、介護職員として福祉サービスに従事しようとする者を対象とした基礎的な職業教育とし、対人理解や対人援助の視点と理念、専門的な職業人として職務にあたる上での姿勢、知識・技術を習得することを目的とする。さらに、将来的には介護福祉士をめざし、より専門的な知識・技術を習得していくことを視野に入れた基盤の形成に資することはもちろん、地域福祉の担い手として活躍できる人材を育成することによって、広く地域社会に貢献することを目的とする。

(名称)

第2条 本研修は、社会福祉法人つばめ福祉会(以下、「当法人」という。)介護福祉士実務者研修(通学課程)と称する。

(位置)

第3条 本研修の位置を、新潟県燕市大曲 2486 番地に置く。

(運営組織)

第4条 当法人の養成施設には、次の教職員を置く。

- ・理事長(養成施設の長) ・本部事務局 教育研修室長 ・同教育研修室室員
- ・教務に関する主任者 ・専任教員 ・介護過程Ⅲを担当する教員
- ・医療的ケアを担当する教員

第2章 修業年限、定員

(修業年限、開講期間、生徒定員、学級数)

第5条 本研修の修業年限、生徒定員、学級数等は、次のとおりとする。

課程	修業年限	開講期間	生徒定員	学級数
介護福祉士実務者研修(通学課程)	6ヶ月	9月 ～ 3月	10名	1

(在学年数)

第6条 受講生は6ヶ月を超えて在学することができない。

第3章 教育課程

(履修方法)

第7条 授業は教材および受講の手引きを配布し、講義形式によって行う。

(科目の免除)

第8条 科目の免除は行わないこととする。

(学習の評価、課題修了の認定)

第9条 課題修了の認定は、次のとおりとする。

- (1) 課題修了の認定は、各科目のカリキュラムを全て履修し、かつ各科目の修了評価および演習に係る評価の結果が、養成施設が定めた水準を超えた受講者に対し行う。
- (2) 修了評価は、筆記試験により行うこととする。なお、当該筆記試験については、100点を満点評価とし、理解度の高い順にA・B・Cの区分で評価し、B以上で修了時に到達すべき水準に達したものの(合格)と認定する。
A：80点以上 B：60～79点 C：59点以下
- (3) 介護技術(演習)と医療的ケア(演習)の評価は、チェックリスト形式による評価を行い、習得度の評価を行うこととする。なお、介護技術(演習)の評価については、習得度の高い順にA・B・C・Dの区分で評価し、C以上で修了時に到達すべき水準に達したものの(合格)とする。
- (4) 合格に達しなかった受講者については、再試験・再評価を受けることとする。

(学年、学期、休業日)

第10条 本研修の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 土曜日
- (2) 日曜日
- (3) 国民の祝日に関する法律で規定する日
- (4) 夏期休業 8月13日から8月15日
- (5) 冬期休業 12月29日から1月3日

(臨時講義)

第11条 養成施設の長は教育上の必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項の規定に関わらず授業を行うことができる。

(臨時休講)

第12条 養成施設の長は非常災害その他の急迫の事情があるときは、臨時に授業を中止することができる。

第4章 入学

(入学時期・終了時期)

第13条 入学・終了は、新潟県立三条テクノスクールが公共職業訓練委託事業で指定する期日とする。

(入学資格)

第14条 本研修に入学できる者は、次のいずれも満たす者とする。

- (1) 求職者で公共職業安定所が適正と認めた者
- (2) 心身ともに健康な者

(入学志願手続)

第15条 入学志願者は、期日までに居住地を管轄する公共職業安定所へ、入校申込書等の必要書類を提出しなければならない。

(入学者の選考)

第16条 入学者の選考は、公共職業安定所が審査の上、新潟県立三条テクノスクールが実施することとする。

(入学手続)

第17条 当法人は、新潟県立三条テクノスクールの選考を経て合格の通知を受けた者へ受講の手引き等の資料を送付し、テキスト代の納付を確認した時点で入学手続完了とする。なお、この際の振込料金は、受講生の負担とする。

第5章 転入学、退学、休学、復学、卒業

(転入学)

第18条 本研修への転入学は、許可しない。

(退学)

第19条 疾病その他の事由により退学しようとする者は、当法人に申し出た上で、新潟県立三条テクノスクールへ所定の様式により願い出なければならない。

(休学、復学)

第20条 疾病その他の事由により休学・復学の申し出があった場合、希望する休学期間、卒業要件等から新潟県立三条テクノスクールと協議の上で検討し判断する。

(卒業)

第21条 全てのカリキュラムを履修し、課題修了の認定を受けた者に対し、修了証明書を授与する。

第6章 学費

(入学金、授業料等)

第22条 入学金・授業料は無料とし、テキスト代 14,080 円(税込)のみ受講生負担とする。なお、前記の費用は、当法人指定口座に案内期日までに一括振込で納付しなければならない。

(補講料)

第23条 講義を欠席したときは、修了の認定に必要な時間の補講を行う。

- 2 1日に実施可能な補講は、最大6時間とする。
- 3 補講料は、欠席した時間数が1時間につき1,000円(税込)とし、受講生が負担する。修了評価が再試験となった場合、再受験料は2,000円とし、受講生が負担する。

第7章 懲戒および除籍

(懲戒)

第24条 次の各号のいずれかに該当する者で、教育上必要があるときは、新潟県立三条テクノスクールと協議の上で、懲戒処分を行う。

- (1)養成施設の秩序を乱し、その他受講生の本文に反する行為のあった者
- (2)素行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (3)学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (4)正当な理由もなく出席が常でない者
- (5)養成施設構内およびその周辺において、学業の遂行あるいは養成施設内秩序の維持を妨げる各種団体加入等の勧誘行為を行った者

2 懲戒は、説諭、謹慎、停学および退学とする。

(除籍)

第25条 次の各号に該当する者は、新潟県立三条テクノスクールと協議の上で除籍する。

- (1)所定の期日までに授業料の納付がなく、督促を受けても2週間以内に完納がない者
- (2)受講期間を超えた者
- (3)第20条に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- (4)1週間以上連絡が取れない者
- (5)死亡した者

(附則)

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) 人間の尊厳と自立	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 高橋 是司、平野 英明、中山 毅、池内 明	時間数 5 時間
<p>【到達目標】 尊厳の保持、自立の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本的な理念を理解している。</p>	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>人間の尊厳と自立</u> ・ 人間の多面的な理解と尊厳 人間を理解するということ、人間の尊厳と意義、人権、そして尊厳をめぐる歴史的経緯、人権、そして尊厳に関する諸規定 ・ 自立の支援 介護における自立、自立への意欲と動機づけ、自立した生活を支えるための援助の視点、介護における自立支援の実践 ・ 人権と尊厳 介護における権利擁護と人権尊重、高齢者虐待の実態と介護の課題、尊厳の保持をめざした介護実践、ノーマライゼーションの実現、プライバシーの保護 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第1巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) 社会の理解 I	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 西村 剛祐、阿部 勝之、井佐 恵子	時間数 5 時間
<p>【到達目標】</p> <p>介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。</p>	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>介護保険制度創設</u>の背景と目的 介護保険制度の創設をめぐる社会的背景、1990年代までの高齢者介護の制度と社会福祉基礎構造改革、介護保険制度の基本理念 ・ <u>介護保険制度</u>の基礎的理解 介護保険制度の概要、保険者・被保険者、保険給付の対象者、保険給付までの流れ、保険給付の種類と内容、地域支援事業、国・都道府県・市町村の役割、その他の組織の役割、介護保険の財政 ・ <u>介護保険制度</u>における専門職の役割 介護職の役割、介護支援専門員の役割、その他の専門職の役割 	
<p>【使用テキスト】</p> <p>介護福祉士実務者研修テキスト第1巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】</p> <p>修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) <p style="text-align: center;">社会の理解Ⅱ</p>	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 <p style="text-align: center;">中山 毅、佐野 一美、松澤 香織 山田 一郎、上原 正直、阿部 勝之、笠原 大輔</p>	時間数 <p style="text-align: center;">30 時間</p>
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。 ○ 地域共生社会の考え方と地域包括ケアのしくみについての基本的な知識を習得している。 ○ 社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を習得している。 ○ 障害者総合支援法の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。 ○ 成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解している。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>社会と生活のしくみ</u> 家庭生活の基本機能、家族、地域、社会集団と組織、ライフスタイルの変化 ・ <u>地域共生社会の実現に向けた制度や施策</u> 地域共生社会とは、地域包括ケアシステムとは ・ <u>社会保障制度</u> 社会保障の概念・範囲、日本の社会保障の発達、社会保障の意義・役割、 社会保障の目的・機能、日本の社会保障制度のしくみ、年金保険、医療保険、 後期高齢者医療制度、雇用保険、労働者災害補償保険、公的扶助、社会手当、社会福祉 ・ <u>障害者総合支援制度</u> 障害の種類と定義、障害者自立支援法から障害者総合支援法へ、サービスの種類と内容、 サービス利用の流れ、自立支援給付と利用者負担、障害者総合支援制度における事業者、 障害者総合支援制度における組織・団体の機能と役割、ライフスタイルからみた支援組織 ・ <u>介護実践に関連する諸制度</u> サービスの利用にかかわる諸制度、虐待防止の諸制度、 人々の権利を擁護するその他の諸制度、保健医療にかかわる諸制度、 介護職と医療にかかわる諸制度、生活を支える諸制度、住生活を支援する諸制度 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第1巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) <p style="text-align: center;">介護の基本 I</p>	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 <p style="text-align: center;">池内 明、鈴木 智正、後藤 浩二 西村 剛祐、西潟 和枝、横山 進</p>	時間数 <p style="text-align: center;">10 時間</p>
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護福祉士の法的な定義や義務を踏まえ、介護予防や看取り、災害時等における介護福祉士の役割を理解している。 ○ 個別ケア、ICF(国際生活機能分類)、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。 ○ 介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>介護福祉士の役割と機能</u> 介護福祉士を取り巻く状況、社会福祉士及び介護福祉士法、介護福祉士のキャリアパス、介護福祉士の活動の場と役割 ・ <u>尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開</u> 利用者に合わせた生活支援、自立に向けた支援、自立に向けた ICF の考え方、自立に向けたリハビリテーションの考え方、自立に向けた個別ケアの考え方、介護の専門性 ・ <u>介護福祉士の倫理</u> 介護福祉士としての倫理の必要性、日本介護福祉士会倫理綱領 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第 2 巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) <p style="text-align: center;">介護の基本Ⅱ</p>	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 <p style="text-align: center;">佐藤 映美子、八子 美貴、中條 真理子 斉藤 浩志、上原 正直</p>	時間数 <p style="text-align: center;">20 時間</p>
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。 ○ チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を習得している。 ○ リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を習得している。 ○ 介護従事者の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を習得している。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>介護を必要とする人の生活の理解と支援</u> 「その人らしさ」の理解、高齢者の暮らしと支援の実際、障害のある人の暮らしと支援の実際、介護を必要とする人の生活環境の理解 ・ <u>介護実践における連携</u> 多職種連携、地域連携 ・ <u>介護における安全の確保とリスクマネジメント</u> 事故防止と安全対策、感染対策 ・ <u>介護従事者の安全</u> 健康管理の意義と目的、健康管理に必要な知識と技術、安心して働ける環境づくり 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) コミュニケーション技術	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 吉沢 敦子、大塚 淳、酒井 貴人、樋口 昌子 後藤 浩二、中山 毅、金子 竜也、藤井 友美、南雲 あゆみ	時間数 20 時間
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本人・家族との支援関係を構築し、意思決定を支援することができる。 ○ 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。 ○ チームマネジメント(組織の運営管理、人材管理、リーダーシップ・フォロワーシップ等)に関する知識を理解し、活用できる。 ○ 状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護におけるコミュニケーション コミュニケーションの意義、目的、役割、コミュニケーションの技法、支援関係の構築と意思決定の支援 ・ 介護におけるコミュニケーション技術 話を聴く技法、利用者の感情表現を察する技法、利用者の納得と同意を得る技法、質問の技法、相談・助言・指導の技法、利用者の意欲を引き出す技法、利用者と家族の意向を調整する技法 ・ <u>介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション</u> コミュニケーション障害の理解、視覚の障害に応じたコミュニケーション技術、聴覚の障害に応じたコミュニケーション技術、構音障害に応じたコミュニケーション技術、失語症に応じたコミュニケーション技術、高次脳機能障害に応じたコミュニケーション技術、知的障害に応じたコミュニケーション技術、精神障害に応じたコミュニケーション技術、認知症に応じたコミュニケーション技術 ・ <u>介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション</u> チームマネジメントの理解と活用、チームのコミュニケーションとは、記録による情報の共有化、報告・連絡・相談による情報の共有化、会議による情報の共有化 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) 生活支援技術 I	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 廣瀬 剛、松島 伸語、猪本 秀一、前山 和也 渡邊 善明、横山 進、渡邊 智、八子 美貴、丸山 哲央 川村 栄子、平野 英明、王永 朋美、内山 修作 羽入 スミ、横山 雅史、酒井 貴人、吉田 亮 小林 良美、上原 正直、川崎 茜、安中 豊、金子 良祐 西村 剛祐、石田 健志、須藤 進介、中山 毅 西潟 和枝、笠原 大輔、牛田 佳子、山田 聡、椿 秀子 大久保 玲子、坂内 孝子、目黒、麻美、小出 未来	時間数 20 時間
【到達目標】 ○ 生活支援における ICF の意義と枠組みを理解している。 ○ ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる。 ○ 自立に向けた生活支援技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)を習得している。 ○ 居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の生活環境を整備する視点・留意点を理解している。	
【授業内容】 ・ <u>生活支援と ICF</u> 生活支援とアセスメント、ICF の視点とアセスメント ・ <u>ボディメカニクスの活用</u> ・ <u>生活支援技術の基本</u> 移動・移乗の生活支援技術の基本、 <u>食事</u> の生活支援技術の基本、 <u>入浴・清潔保持</u> の生活支援技術の基本、 <u>排泄</u> の生活支援技術の基本、 <u>着脱・整容・口腔清潔</u> の生活支援技術の基本、 <u>家事援助</u> の基本 ・ <u>環境整備、福祉用具活用等の視点</u> 居住環境の意義、生活空間と介護、福祉用具の活用	
【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第 2 巻 (中央法規出版株式会社)	【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) 生活支援技術Ⅱ	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 廣瀬 剛、松島 伸語、猪本 秀一、前山 和也 渡邊 善明、横山 進、渡邊 智、八子 美貴、丸山 哲央 有波 こずえ、王永 朋美、内山 修作、羽入 スミ 横山 雅史、酒井 貴人、吉田 亮、小林 良美 上原 正直、川崎 茜、安中 豊、金子 良祐、西村 剛祐 石田 健志、須藤 進介、日下部 尚美 西潟 和枝、山田 聡、椿 秀子、南波 諒輔 坂内 孝子、目黒、麻美、小出 未来	時間数 30 時間
【到達目標】 ○ 「環境整備」「移動・移乗」「食事」「入浴・清潔保持」「排泄」「着脱、整容、口腔清潔」「休息・睡眠」「人生の最終段階における介護」「福祉用具等の活用」のそれぞれについて、利用者の心身の状態に合わせた、自立に向けた生活支援技術を理解し、行うことができる。	
【授業内容】 ・ <u>利用者の心身の状態に合わせた生活支援技術</u> 環境整備と福祉用具等の活用、 <u>移動・移乗</u> の生活支援技術、 <u>食事</u> の生活支援技術、 <u>入浴・清潔保持</u> の生活支援技術、 <u>排泄</u> の生活支援技術、 <u>着脱・整容・口腔清潔</u> の生活支援技術、 <u>休息・睡眠</u> の生活支援技術、人生の最終段階における介護の生活支援技術	
【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 (中央法規出版株式会社)	【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) <p style="text-align: center;">介護過程 I</p>	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 <p style="text-align: center;">吉沢 敦子、西村 剛祐、上原 正直 霜鳥 紀子、樋口 昌子、阿部 正人</p>	時間数 <p style="text-align: center;">20 時間</p>
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護過程の目的、意義、展開等を理解している。 ○ 介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。 ○ チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、他の職種の役割を理解している。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>介護過程の基礎的知識</u> 介護の概念の見直し、根拠に基づいた介護の実践、介護過程の必要性 ・ <u>介護過程の展開</u> 介護過程の展開イメージ、アセスメント、計画の立案、実施、評価 ・ <u>介護過程とチームアプローチ</u> 介護過程とケアマネジメントの関係性、チームアプローチにおける介護福祉士の役割 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第3巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) <p style="text-align: center;">介護過程Ⅱ</p>	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 吉沢 敦子、西村 剛祐、上原 正直、坂上 美奈子 齋藤 真吏、瀧沢 枝里子、佐藤 祥子、清水 邦夫	時間数 <p style="text-align: center;">25 時間</p>
<p>【到達目標】</p> <p>○ 情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。</p>	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>介護過程の展開の実際</u> 利用者の状態(障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等)について事例を設定し、<u>介護過程を展開させる。観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携等についても考察させる。</u> ・ 介護職による介護過程の進め方 ・ 介護過程の実践的展開 ・ 施設で暮らす高齢者の介護過程 ・ 在宅で暮らす高齢者の介護過程 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第3巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) <p style="text-align: center;">介護過程Ⅲ</p>	授業種類 (講義・ 演習 ・実習)
担当講師 <p style="text-align: center;">吉沢 敦子、酒井 貴人、石田 健志 渡邊 善明、椿 秀子、大塚 淳、中條 真理子 西村 剛祐、須藤 進介、樋口 昌子、坂上 美奈子</p>	時間数 <p style="text-align: center;">45 時間</p>
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に習得し、活用できる。 ○ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護(アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等)を提供できる。 ○ 介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ○ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>介護過程の展開の実際</u> 多様な事例を設定し、介護課程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する。 ・ <u>介護技術の評価</u> 介護技術の原理原則の習得・実践とともに、知識・技術を総合的に活用した判断力、応用力を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例 1 片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援 ・ 事例 2 在宅で終末期を迎える高齢者と家族の生活支援 ・ 事例 3 都会に住む一人暮らしの高齢者の生活支援 ・ 事例 4 介護老人保健施設で生活する利用者への支援 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第3巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、チェックリスト形式による評価、 全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

<p>授業のタイトル(科目名) ころとからだのしくみ I</p>	<p>授業種類 (講義)・演習・実習</p>
<p>担当講師 平松 京子、小川 佳代 王永 朋美、内山 修作、羽入 スミ、横山 雅史 酒井 貴人、吉田 亮、小林 良美、上原 正直、川崎 茜 前山 和也、渡邊 智、横山 進、渡邊 善明、八子 美貴 安中 豊、丸山 哲央、金子 良祐、西村 剛祐、石田 健志 須藤 進介、西潟 和枝、山田 聡、金子 林美子</p>	<p>時間数 20 時間</p>
<p>【到達目標】 ○ 介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を習得している。</p>	
<p>【授業内容】 ・ <u>介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解</u> 移動・移乗に関連するからだのしくみ、食事に関連するからだのしくみ、 入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ、排泄に関連するからだのしくみ、 着脱・整容・口腔清潔に関連するからだのしくみ、休息・睡眠に関連するからだのしくみ</p>	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第 4 巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) ころとからだのしくみⅡ	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 佐野 一美、平松 京子、小川 佳代 有波 こずえ、朝妻 成美、王永 朋美 内山 修作、羽入 スミ、横山 雅史、酒井 貴人 吉田 亮、小林 良美、上原 正直、川崎 茜、前山 和也 渡邊 智、横山 進、渡邊 善明、八子 美貴、安中 豊 丸山 哲央、金子 良祐、西村 剛祐、石田 健志 須藤 進介、日下部 尚美、西潟 和枝、山田 聡、金子 林美子	時間数 60 時間
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を習得している。 ○ 生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を習得している。 ○ 身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>人間の心理</u> 人間の欲求の基本的理解、ころのしくみの基礎 ・ <u>人体の構造と機能</u> 生命の維持・恒常のしくみ、人間のからだのしくみ ・ <u>身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護における観察・アセスメントのポイント、連携等の留意点</u> <u>移動・移乗</u>における観察のポイント、<u>食事</u>における観察のポイント、<u>入浴・清潔保持</u>における観察のポイント、<u>排泄</u>における観察のポイント、<u>着脱・整容・口腔清潔</u>における観察のポイント、<u>休息・睡眠</u>における観察のポイント、<u>人生の最終段階のケア</u>における観察のポイント 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) 発達と老化の理解 I	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 樋口 昌子、伊藤 優子、田澤 真弓	時間数 10 時間
【到達目標】 ○ 老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。 ○ 老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。	
【授業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>老化に伴う心の変化と日常生活への影響</u> 老化が及ぼす心理的影響、自己概念と生きがい ・ <u>老化に伴うからだの変化と日常生活への影響</u> 加齢に伴う身体機能の変化と日常生活への影響、さまざまな機能の変化 	
【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第 4 巻 (中央法規出版株式会社)	【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) 発達と老化の理解Ⅱ	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 平松 京子、小林 良子、霜鳥 紀子 美寺 ひろみ、斎藤 弘靖	時間数 20 時間
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ライフサイクル各期の発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。 ○ 老年期の発達課題、心理的な課題(老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等)と支援の留意点について理解している。 ○ 高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>人間の成長・発達</u> 発達の定義、発達段階と発達課題、各ライフサイクルの発達 ・ <u>老年期の発達・成熟と心理</u> 老年期の定義、老年期の心理的課題と適応、要介護状態と高齢者の心理、不適応状態を緩和する心理 ・ <u>高齢者に多い症状・疾病等と留意点</u> 高齢者に多くみられる症状・訴えとその留意点、介護を要する高齢者によくみられる病気・病態 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) 認知症の理解 I	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 斉藤 浩志、猪本 朋子、澁谷 歩、梅田 奈津希	時間数 10 時間
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。 ○ 認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ○ 認知症の人やその家族に対する関わり方・支援の基本を理解している。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>認知症ケアの理念</u> 認知症ケアを取り巻く状況、認知症ケアの理念、認知症ケアの視点 ・ <u>認知症による生活障害、心理・行動の特徴</u> 「人」と「生活」の理解、認知症ケアはなぜ「人」と「生活」に焦点をあてる必要があるのか、 認知症の中核症状、BPSD(行動・心理症状)、意識障害の理解、生活障害の理解 ・ <u>認知症の人や家族へのかかわり・支援の基本</u> 認知症の人にかかわる際の前提、実際のかかわり方の基本、家族への支援 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) 認知症の理解Ⅱ	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 斉藤 浩志、有波 こずえ 羽入 スミ、中條 真理子、関口 悟	時間数 20 時間
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 代表的な認知症(若年性認知症を含む)原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等について医学的知識を理解している。 ○ 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、本人主体の理念に基づいた支援ができる。 ○ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>医学的側面から見た認知症の理解</u> 認知症とは、認知症の診断、認知症の原因疾患とその病態、認知症の治療と予防 ・ <u>認知症の人への支援の実際</u> 認知症のアセスメント、中核症状へのかかわり方の実際、 B P S D(行動・心理症状)へのかかわり方の実際、環境の整備、 認知症ケアにおけるチームアプローチ、認知症の人へのさまざまなアプローチ 地域生活の支援 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) <p style="text-align: center;">障害の理解 I</p>	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 <p style="text-align: center;">中山 毅、滝澤 浩一、清水 邦夫、瀧沢 枝里子</p>	時間数 <p style="text-align: center;">10 時間</p>
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。 ○ 障害(身体・知的・精神・発達障害・難病等)による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ○ 障害のある人やその家族に対する関わり方・支援の基本を理解している。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>障害者福祉の理念</u> 「障害」のとらえ方、国際障害分類と国際生活機能分類、 障害者福祉の基本理念、障害の法的定義 ・ <u>障害による生活障害、心理・行動の特徴</u> 身体障害による生活上の障害と心理・行動の特徴、 知的障害による生活上の障害と心理・行動の特徴、 精神障害による生活上の障害と心理・行動の特徴、 高次脳機能障害による生活上の障害と心理・行動の特徴 発達障害による生活上の障害と心理・行動の特徴 難病による心理・行動の特徴 ・ <u>障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本</u> 障害のある人へのかかわり・支援の基本、家族の理解と障害の受容支援、 介護負担の軽減 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) <p style="text-align: center;">障害の理解Ⅱ</p>	授業種類 (講義)・演習・実習
担当講師 <p style="text-align: center;">河野 美穂、廣瀬 剛、 須藤 美貴、渡邊 善明、長谷川 幸輝、石丸 幸子</p>	時間数 <p style="text-align: center;">20 時間</p>
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を習得している。 ○ 障害の特性、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ○ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 	
<p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>医学的側面からみた障害の理解</u> 視覚障害、聴覚・言語障害、運動機能障害、心臓機能障害、呼吸機能障害、腎臓機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害、知的障害、精神障害、高次脳機能障害、発達障害、難病 ・ <u>障害の特性に応じた支援の実践</u> アセスメントの視点と個別支援、障害のある人がふつうに暮らせる地域づくり、地域におけるサポート体制 	
<p>【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (中央法規出版株式会社)</p>	<p>【単位認定の方法・基準】 修了評価、全カリキュラムの履修、授業態度</p>

授業概要(シラバス)

(介護福祉士実務者研修(通学課程))

授業のタイトル(科目名) <p style="text-align: center;">医療的ケア</p>	授業種類 (講義・演習・実習)
担当講師 <p style="text-align: center;">平松 京子、小川 佳代 有波 こずえ、渡辺 涼太、小林 美幸</p>	時間数 <p style="text-align: center;">50 時間＋演習</p>
【到達目標】 ○ 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。	
【授業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>医療的ケア実施の基礎</u> 医療的ケア、安全な療養生活、清潔保持と感染予防、健康状態の把握 ・ <u>喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</u> 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論、高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 ・ <u>経管栄養(基礎的知識・実施手順)</u> 高齢者および障害児・者の経管栄養概論、高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説 ・ <u>演習</u> 喀痰吸引のケア実施の手引き、経管栄養のケア実施の手引き、救急蘇生法の手引き 	
【使用テキスト】 介護福祉士実務者研修テキスト第 5 巻 (中央法規出版株式会社)	【単位認定の方法・基準】 修了評価、 チェックリスト形式による評価(演習)、 全カリキュラムの履修、授業態度

介護福祉士実務者研修(通学課程) 担当講師一覧

担当業務内容(担当科目)	講師名	業務に関する資格
人間の尊厳と自立	高橋 是司	社会福祉士
	平野 英明	介護福祉士
	中山 毅	社会福祉士
	池内 明	介護福祉士
社会の理解 I	西村 剛祐	介護福祉士
	阿部 勝之	社会福祉士
	井佐 恵子	社会福祉士
社会の理解 II	佐野 一美	社会福祉士
	山田 一郎	社会福祉士
	上原 正直	介護福祉士
	中山 毅	社会福祉士
	松澤 香織	介護福祉士
	阿部 勝之	社会福祉士
	笠原 大輔	社会福祉士
介護の基本 I	後藤 浩二	介護福祉士
	西村 剛祐	介護福祉士
	池内 明	介護福祉士
	鈴木 智正	—
	西潟 和枝	介護福祉士
	横山 進	介護福祉士
介護の基本 II	佐藤 映美子	介護支援専門員
	八子 美貴	介護福祉士
	中條 真理子	介護福祉士
	斉藤 浩志	介護福祉士
	上原 正直	介護福祉士
コミュニケーション技術	吉沢 敦子	介護福祉士
	後藤 浩二	介護福祉士
	酒井 貴人	介護福祉士
	大塚 淳	介護福祉士
	樋口 昌子	介護福祉士
	中山 毅	社会福祉士
	金子 竜也	介護福祉士
	藤井 友美	介護福祉士
	南雲 あゆみ	介護福祉士
生活支援技術 I	安中 豊	介護福祉士
	羽入 スミ	介護福祉士
	横山 雅史	介護福祉士
	横山 進	介護福祉士
	王永 朋美	介護福祉士
	丸山 哲央	介護福祉士
	吉田 亮	介護福祉士
	金子 良祐	介護福祉士
	酒井 貴人	介護福祉士
	小林 良美	介護福祉士
	松島 伸語	理学療法士
	上原 正直	介護福祉士
	須藤 進介	介護福祉士
	西村 剛祐	介護福祉士
	石田 健志	介護福祉士
	川崎 茜	介護福祉士
	川村 栄子	介護福祉士
	前山 和也	介護福祉士
	猪本 秀一	介護福祉士
	渡邊 智	介護福祉士
	渡邊 善明	介護福祉士
	内山 修作	介護福祉士
	八子 美貴	介護福祉士
	平野 英明	介護福祉士
廣瀬 剛	作業療法士	
西潟 和枝	介護福祉士	

生活支援技術Ⅰ	笠原 大輔	社会福祉士
	牛田 佳子	理学療法士
	山田 聡	介護福祉士
	椿 秀子	介護福祉士
	中山 毅	社会福祉士
	大久保 玲子	介護福祉士
	坂内 孝子	介護福祉士
	目黒 麻美	介護福祉士
	小出 未来	介護譜
生活支援技術Ⅱ	安中 豊	介護福祉士
	羽入 スミ	介護福祉士
	横山 雅史	介護福祉士
	横山 進	介護福祉士
	王永 朋美	介護福祉士
	丸山 哲央	介護福祉士
	吉田 亮	介護福祉士
	金子 良祐	介護福祉士
	酒井 貴人	介護福祉士
	小林 良美	介護福祉士
	松島 伸語	理学療法士
	上原 正直	介護福祉士
	須藤 進介	介護福祉士
	西村 剛祐	介護福祉士
	石田 健志	介護福祉士
	川崎 茜	介護福祉士
	前山 和也	介護福祉士
	猪本 秀一	介護福祉士
	渡邊 智	介護福祉士
	渡邊 善明	介護福祉士
	内山 修作	介護福祉士
	日下部 尚美	社会福祉士
	八子 美貴	介護福祉士
	有波 こずえ	看護師
	廣瀬 剛	作業療法士
	西潟 和枝	介護福祉士
	山田 聡	介護福祉士
	椿 秀子	介護福祉士
	南波 諒輔	理学療法士
	坂内 孝子	介護福祉士
目黒 麻美	介護福祉士	
小出 未来	介護譜	
介護過程Ⅰ	吉沢 敦子	介護福祉士
	上原 正直	介護福祉士
	西村 剛祐	介護福祉士
	霜鳥 紀子	介護支援専門員
	樋口 昌子	介護福祉士
	阿部 正人	介護支援専門員
介護過程Ⅱ	吉沢 敦子	介護福祉士
	佐藤 祥子	介護支援専門員
	坂上 美奈子	介護支援専門員
	上原 正直	介護福祉士
	西村 剛祐	介護福祉士
	瀧沢 枝里子	社会福祉士
	齋藤 真吏	介護支援専門員
	清水 邦夫	社会福祉士
介護過程Ⅲ	吉沢 敦子	介護福祉士
	酒井 貴人	介護福祉士
	須藤 進介	介護福祉士
	西村 剛祐	介護福祉士
	石田 健志	介護福祉士
	大塚 淳	介護福祉士
	中條 真理子	介護福祉士

介護過程Ⅲ	椿 秀子	介護福祉士
	渡邊 善明	介護福祉士
	樋口 昌子	介護福祉士
	坂上 美奈子	介護支援専門員
発達と老化の理解Ⅰ	樋口 昌子	介護福祉士
	伊藤 優子	介護福祉士
	田澤 真弓	看護師
発達と老化の理解Ⅱ	平松 京子	看護師
	小林 良子	看護師
	霜鳥 紀子	介護支援専門員
	美寺 ひろみ	看護師
	斎藤 弘靖	社会福祉士
認知症の理解Ⅰ	斉藤 浩志	介護福祉士
	猪本 朋子	介護福祉士
	澁谷 歩	介護福祉士
	梅田 奈津希	介護福祉士
認知症の理解Ⅱ	羽入 スミ	介護福祉士
	関口 悟	社会福祉士
	斉藤 浩志	介護福祉士
	中條 真理子	介護福祉士
	有波 こずえ	看護師
障害の理解Ⅰ	滝澤 浩一	社会福祉士
	中山 毅	社会福祉士
	清水 邦夫	社会福祉士
	瀧沢 枝里子	社会福祉士
障害の理解Ⅱ	河野 美徳	理学療法士
	須藤 美貴	社会福祉士
	廣瀬 剛	作業療法士
	渡邊 善明	介護福祉士
	長谷川 幸輝	理学療法士
	石丸 幸子	看護師
こころとからだのしくみⅠ	安中 豊	介護福祉士
	羽入 スミ	介護福祉士
	横山 雅史	介護福祉士
	横山 進	介護福祉士
	王永 朋美	介護福祉士
	丸山 哲央	介護福祉士
	吉田 亮	介護福祉士
	金子 良祐	介護福祉士
	酒井 貴人	介護福祉士
	小川 佳代	看護師
	小林 良美	介護福祉士
	上原 正直	介護福祉士
	須藤 進介	介護福祉士
	西村 剛祐	介護福祉士
	石田 健志	介護福祉士
	川崎 茜	介護福祉士
	前山 和也	介護福祉士
	渡邊 智	介護福祉士
	渡邊 善明	介護福祉士
	内山 修作	介護福祉士
	八子 美貴	介護福祉士
	平松 京子	看護師
	西潟 和枝	介護福祉士
山田 聡	介護福祉士	
金子 林美子	介護福祉士	
こころとからだのしくみⅡ	安中 豊	介護福祉士
	羽入 スミ	介護福祉士
	横山 雅史	介護福祉士
	横山 進	介護福祉士
	丸山 哲央	介護福祉士

こころとからだのしくみⅡ	吉田 亮	介護福祉士
	金子 良祐	介護福祉士
	佐野 一美	社会福祉士
	酒井 貴人	介護福祉士
	小川 佳代	看護師
	小林 良美	介護福祉士
	上原 正直	介護福祉士
	須藤 進介	介護福祉士
	西村 剛祐	介護福祉士
	石田 健志	介護福祉士
	川崎 茜	介護福祉士
	前山 和也	介護福祉士
	朝妻 成美	看護師
	渡邊 智	介護福祉士
	渡邊 善明	介護福祉士
	内山 修作	介護福祉士
	日下部 尚美	社会福祉士
	八子 美貴	介護福祉士
	平松 京子	看護師
	有波 こずえ	看護師
西潟 和枝	介護福祉士	
山田 聡	介護福祉士	
金子 林美子	介護福祉士	
医療的ケア	小川 佳代	看護師
	平松 京子	看護師
	有波 こずえ	看護師
	渡辺 涼太	看護師
	小林 美幸	看護師